

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 **	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者	

起票日	平成 30年 8 月 10 日	所 属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会 計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	19 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	47,120 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認	
支 払 回 数	3 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認	
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	89,415 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	510,585 円	請求書番号			
源泉支払内容	*****				

件 名	旅費 8/24～8/25第10回全国政策研究集会2018in沼津 参加旅費
-----	---------------------------------------

摘 要	
-----	--

債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	平成30年8月23日
	住 所			
	名 称	市民トライネット代表者 高橋 登		
	役職等/氏名			
	銀 行 / 口 座			
	口 座 名 義 人		債 権 者 番 号	0 - 000004459 - 00

領 収 氏 名	住所	市民トライネット代表者 高橋 登	領 収 印	
---------	----	------------------	-------	---

上記の金額を領収しました。

平成30年8月23日

泉大津市 会計管理者 あて

支 払 済

支出負担行為 確 認




伝票番号

30-007356

整理番号

30-000014-03

負担行為番号

30-000673

呼出番号



00122679

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

30.8.18

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成30年 8 月 9 日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民こういネット
代表者名 高橋 登



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	47,120円		
内 訳	8/24~8/25 第10回全国政策研究集会 2018in 沼津 参加旅費		
支 払 先	高橋 登		
予 算 科 目	旅 費	交 付 残 額	510,585円
使 用 者 名	高橋 登		

平成30年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民トライネット		氏名	高橋 登				
出発・帰庁年月日		出発 30年8月24日			帰庁 30年8月25日			
出張先(順路)		沼津情報ビジネス専門学校(静岡県沼津市西条町)						
目的及び用件		第10回全国政策研究集会 2018 in 沼津に参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円
" (大阪メトロ御堂筋線) 新大阪		280						440
" (東海道新幹線) 静岡	376.2	7,020	特急料金 (ひかり) 4,620	(繁忙期) 200	1泊 15,000	2日 7,000		280
" (東海道本線) 沼津	54							33,840
" (線) 復路		7,740	特急料金 (ひかり) 4,620	(繁忙期) 200				12,560
(線)								
(線)							計	47,120
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								

主管課用

平成30年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民トライネット		氏名	高橋 登				
出発・帰庁年月日		出発 30年8月24日			帰庁 30年8月25日			
出張先(順路)		沼津情報ビジネス専門学校(静岡県沼津市西条町)						
目的及び用件		第10回全国政策研究集会 2018 in 沼津に参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円
" (大阪メトロ御堂筋線) 新大阪		280						280
" (東海道新幹線) 静岡	376.2 430.2	7,020	特急料金 (ひかり) 4,620	(繁忙期) 200	1泊 15,000	2日 7,000		33,840
" (東海道本線) 沼津	54							
" (線) 復路		7,740	特急料金 (ひかり) 4,620	(繁忙期) 200				12,560
(線)							計	47,120
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								

右の金額領収いたしました。

平成 年 月 日

泉大津市会計管理者 殿

金額 ￥47120

職名 市民トライネット

氏名 高橋 登



印

第10回

全国政策研究集会

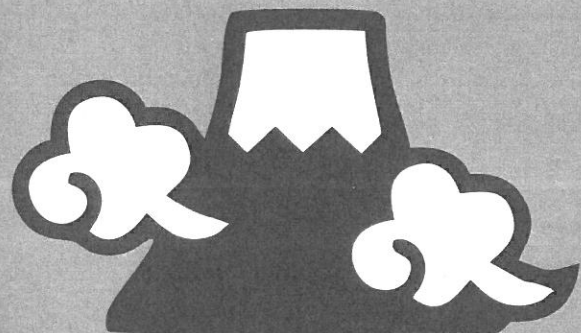
2018

IN 沼津



富士山のもとで、 地方自治体の 未来を考える

～憲法・国民投票・地方自治～



8/24 金曜日 8/25 土曜日 参加申込み
締切り
7月末

沼津情報ビジネス専門学校

特別講演

静岡県から地方自治を考える

静岡県知事 川勝平太さん

基調講演

「日本一わかりやすい憲法のはなし」

谷口真由美さん(大阪国際大学准教授、大阪大学非常勤講師、全日本おばちゃん党代表代行)

分科会

- 1 「国民投票と地方自治」
鈴木秀美さん(慶応義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授)
南部義典さん(元慶応義塾大学講師・国民投票広告機構 代表)
- 2 「憲法・地方自治・議員のめざす姿」
福岡浩彦さん(中央学院大学教授・元我孫子市長)
松谷清さん(静岡市議)
- 3 「地域からのエネルギーシフト!再生可能エネルギーへ」
飯田哲也さん(NPO法人 環境エネルギー政策研究所 所長)
鈴木亮さん(日経新聞 編集局編集委員兼キャスター)
- 4 「個として繋がり合い、支え合っている社会づくり」若者・生活困窮者支援
津富宏さん(静岡県立大学国際関係学部国際関係学科 教授)
橋本隆夫さん(静岡市子ども未来局子ども未来課長)
- 5 「自転車×まちづくり」新たな次元の社会政策を考える
小林成基さん(NPO法人 自転車活用推進研究会 理事長)
佐藤雄一さん(静岡県サイクルツーリズム協議会 事務局長)
- 6 「超巨大プロジェクトリニア中央新幹線が日本を破壊する?!」
服部隆さん(登山家・焼津市在住)
山田厚さん(リニアを考える自治体議員懇談会 代表・甲府市議)
*特別出演: コント60代(長野県大鹿村在住)

主催/自治体議員政策情報センター 虹とみどり 協力/自治体議員立憲ネットワーク静岡

～憲法・国民投票・地方自治～

第10回全国政策研究集会in沼津-参加申込用紙

日時：2018年8月24日（金）、25日（土） 会場：沼津情報ビジネス専門学校（沼津市）

1. 分類 当てはまる項目に○をつけて下さい。（なお、一般以外は1日だけでも2日通しも同料金です。）

○記入欄							
種別	自治体議員 政策情報センター 会員議員	非会員議員 (区市議・ 都道府県議)	首長	町村議 (会員・非会 員問わず)	一般/研究者 (2日通し)	一般/研究者 (1日のみ) ____日に参加	学生
参加費	5,000円	10,000円	5,000円 (協賛費)	3,000円	1,000円	500円	無料

2. 分科会参加申し込み それぞれにご希望の分科会に○を記入してください。

*人数把握のための目安です。当日変更も可能です。

日付	時間	テーマ	希望分科会
8/24 (金)	16:15～18:15 第Ⅰ分科会	(1)国民投票と地方自治	
		(2)憲法・地方自治・議員のめざす姿	
		(3)地域からのエネルギーシフト！再生可能エネルギーへ	
日付	時間	テーマ	希望分科会
8/25 (土)	9:30～11:30 第Ⅱ分科会	(1)「個として繋がり合い、支え合っている社会づくり」 若者・生活困窮者支援	
		(2)「自転車×まちづくり」新たな次元の社会政策を考える	
		(3)超巨大プロジェクト「リニア中央新幹線」が日本を破壊する？！	

3. 地産地消レセプション参加申し込み (4,000円) どちらかに○を付けてください。

・参加する	・参加しない
-------	--------

各地の名産を1品ずつ持ち寄って披露します。お持ちいただける方は銘酒・名産品をご記入下さい。
(持参なしでも大丈夫です。予告なしの持ち寄りも大歓迎。今までの実績はお酒、お菓子類など)

[]

4. オプション企画参加申し込み ご希望の方は、当てはまる項目に○をつけて下さい。

○記入欄		
企画名 要旨	浜岡原発の現状を視察する 注意 7月31日(火)締め切り厳守 センター会員および協力団体会員限定 必要な情報などがあります。追って連絡します	地域資源「川の流れ」を活かしたまちづくり
日時など	8/23(木) 12:20～16:30 (無料：定員30名)	8/25(土) 14:00～16:00 (2500円昼食付：定員15名)
集合場所	掛川駅南口集合	会場より誘導します
○記入欄		
企画名 要旨	文化財保護と開発～市民運動の広がり～	「自転車×まちづくり」 沼津市のサイクルツーリズムを体験する
日時など	8/25(土) 12:30～15:40 (2500円昼食付：定員20名)	8/25(土) 12:45～16:30 (2000円昼食付：定員16名)
集合場所	会場より誘導します	会場より誘導します

住所	〒		
氏名	ふりがな	電話・FAX番号	所属
		TEL FAX	
E-mail			

申込締切：7月末 お支払い：当日受付にて、集金させていただきます。（申し込み方法は裏面）

□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号		収受年月日		平成30年10月1日	
差 出 名		市民トライネット 高橋 登			
あ て 名		泉大津市議会議長		提出期限	
収 受 文 書 の 記 号		収受文書の日付		平成30年10月1日	
件 名		報告書			
議長		副議長		事務局長	
次長		合			
					
		議			
主 次長補佐		議事調査係長		庶務係長	
係員		議			
					
					
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項					
日 時：平成30年8月24日（金）～平成30年8月25日（土）					
出張先：沼津情報ビジネス専門学校（静岡県沼津市）					
目 的：第10回全国政策研究集会in静岡（自治体議員政策情報センター主催）					

報 告 書

会派代表者

高橋 登

平成30年10月1日

泉大津市議会議長 殿

市民トライネット

出張者 高橋 登



下記により出張したので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時：平成30年8月24日（金）～25日（土）
2. 出張先：沼津情報ビジネス専門学校（静岡県沼津市）
3. 目 的：自治体議員政策情報センターが主催する第10回全国政策研究集会 in 静岡に参加させて頂いた。今政策研究会には、毎年参加させて頂いているが、今回は静岡県沼津市を会場に「富士山のもとで、地方自治体の未来を考える～憲法・国民投票・地方自治～」をテーマに掲げ、憲法改正と地方自治の関係、さらに日本の戦後民主主義システムが大きく変わる可能性に対し、立憲主義に基づいた市民の側からの民衆運動が対置できるのか、という大きな課題を地域の運動にこだわって活動する人々との交流と情報交換をしながら、新しい地方自治の在り方について考え、本市のまちづくりに寄与することを目的に研修させて頂いた。

4. 報告内容

第10回全国政策研究集会は、富士山のもとで、地方自治体の未来を考える～とのテーマに現在安倍内閣のもとで進められる憲法改正論議と憲法改正のための手続きとしての国民投票、さらにはこれらのことが地方自治に与える影響と民主主義の在り方を考える政策研究と位置づけられた集会であった。

泉大津駅を早朝に出発、新幹線で静岡へ静岡駅からは在来線に乗り換え、沼津駅に正午前に到着、6分ほど歩いて会場に、受付を済ませて13時からの開会に備えさせて頂いた。

まず、開会のあいさつに立った上原公子さん（元国立市長、自治体議員政策情報センター長）は、モリカケ問題に始まり、憲法改正に突き進む現在のアベ

政治の現状を「ひどすぎる政治」と表現し、民主主義が壊れていく現状を憂いながら、なおかつ未来への希望見出し、つなげる研究集会にしなければならないと今集会の意義を訴えた。壇上には、今政策研究集会の実行委員長を務めた沼津市議の山下ふみ子さんは、19万2千人の町を紹介し、会場を提供くださった沼津情報ビジネス専門学校長鈴木経さんから歓迎のあいさつを受けた後、沼津市長、頼重秀一は「人口減少社会にあって、いかに地域の特性を生かしたまちづくりをやっていくかが大きな課題であり、今後の自治体経営を担っていくカギでもある。持続可能な社会のシステムを創っていく必要がある。」とあいさつした。つぎに、特別講演として「静岡県から地方自治を考える」と題して、静岡県知事川勝平太さんから講演を受けた。日本のシンボルである富士山のもとで、地方自治体の未来を考える機会を得たことにまず感謝すると述べた後、「明治維新後150年、日本は、東京に首都機能が置かれてきた。1980年代以降東京一極集中が進み、災害の際のデメリットなどの考慮から、90年には国会の衆参両院で首都機能移転が決議されたにもかかわらず、政府も国会議員も答申を放置してきた。明治150年を節目として、日本政府は「国会等移転審議会」の答申に従い、首都機能を東京から那須野が原に移すことを検討すべきであると訴えた。防災面でも東京一極集中は根本から見直されるべきである。府県レベルの広域対応には限界がある。かりに知事同士が交流を深めても、任期は4年なので選挙で知事が変われば、それまで積み上げられてきた広域化の取り組みは消えてしまう。広域災害に備える危機対応の観点からも府県制は見直されるべきであろう。首都圏機能の移転には、圏域が先進国並みの経済力を持つことである。もう一つは、自然環境と景観である。この二つの基準は、日本を四つほどの地域単位「四州」に分けられる。ことを提案した。

今年は、明治150年であり、明治維新以来の中央集権体制の「東京時代」と決別し、新たに四州の地域が自立しながら活性化すべく「ポスト東京時代」を拓くときである。」と結んだ。

続いて「TBSサンデーモーニングコメンテーター」として活躍する谷口真由美さん（大阪国際大学準教授・大阪大学非常勤講師、全日本おばちゃん党代表代行）の基調講演を受けた。講演テーマは、「日本一わかりやすい憲法のはなし」憲法について基本の基の話として認識しておかねばならないのは、「憲法は、公権力への抵抗（レジスタンス）として位置付けられたものであり、憲法は公権力を規制するもので国民を縛るものではない。」ということである。このことは、憲法98条に規定された立憲主義に明記されていることが紹介された。

安倍「一強」体制のもと2015年秋、立憲主義を壊し集団的自衛権の行使を容認する安保法制が強行採決されたが、今秋には憲法9条の第一項、二項を残し自衛隊を第三項に加えるという憲法改正案が国会に発議されようしている現状

に危機感を感じていることを訴えるとともに憲法の基本的な理念を損なわせるものだ」と訴えた。さらには、憲法の歴史は、民主主義を勝ちとった1776年の米国の独立宣言まで遡りながら解説された。また、第3章に明記されている国民の権利及び義務についても納税については、払える人が払う、勤労の義務についても国民に仕事を用意するということであり、勤労せよということではなく、為政者、公務員に課せられた義務であると憲法の理念を分かりやすく解説された。

15分ほどの休憩を挟んで16時20分からは、各教室に分かれて三つの分科会が開催された。①国民投票と地方自治②憲法・地方自治・議員のめざす姿③地域からのエネルギーシフト！再生可能エネルギーへ、のテーマであったが、私は、地域で「市民自然エネルギーの会」として活動している関係から第③分科会に参加させて頂いた。講師は、鈴木亮さん（日経新聞編集局編集委員兼キャスター）飯田哲也さん（NPO法人環境エネルギー政策研究所所長）であった。まず、鈴木さんからは、全国で活動され進む自然エネルギーの普及事例等の具体例が紹介された。この中で具体例の一つと紹介された泉大津の「市民自然エネルギーの会」は行政が積極的に協力している先進事例として紹介された。

飯田さんからは、世界の多くの国や企業は再生可能エネルギーと省エネを最も重要な産業として拡大してきている現状を紹介するとともにパリ協定をきっかけに世界はCO₂を実質ゼロにする脱炭素社会に大きく舵を切ったが、自然資源と高い技術を有する日本は、未だ原発依存を続けている。再生エネルギーを軸に持続可能なエネルギーの確保に向けた具体的な地方自治体のエネルギー政策を持つべきだと説得力のある数字をあげて解説いただいた。

夕食を兼ねた交流会に参加させて頂いたのち、会場から歩いて10分のホテルで就寝し翌日の研修に備えさせて頂いた。

2日目は、9時30分から①「個としとて繋がり合い、支え合っていける社会づくり」若者・生活困窮者支援②「自転車×まちづくり」新たな次元の社会政策を考える③超巨大プロジェクト「リニア中央新幹線」が日本を破壊する？！という3分科会に分かれて研修と議論が展開された。私は、第1分科会に参加させて頂いた。講師は、津富宏さん（静岡県立大学国際関係学部国際関係学科教授）橋本隆夫さん（静岡市子ども未来局未来課長）に担って頂いた。また、地域で就労支援を続けるNPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡理事長、一般社団法人静岡学習支援ネットワーク代表理事にも議論に入っただき、現場からの報告を受け、闊達な議論に貢献して頂いた。「働きたくとも働けない」「社会との関わりに不安がある」など若者の内面にも寄り添いながら、生活の困りごとや不安を抱えている人を支え信頼関係を構築しながら就労につなげて

いく、さらには地域を作り直していく静岡の実践活動から相互扶助の社会をつくっていく生活困窮者支援についての報告と問題解決への提起を受けた。特に子供の貧困率と貧困の連鎖率等の統計を行政にどのようにつなげていくかが課題であり、子どもの貧困対策につなげていく事が大切である報告された。

1 1時30分過ぎから3分科会からの総括報告を受けた②分科会からは、自転車は、環境にやさしく安全な交通手段として注目を集めているが、自転車活用推進法が施行され各自治体の総合的な取り組みが求められており、自転車を活用したまちづくりの政策が欠かせないことが報告された。③分科会からは、時速500キロで東京～名古屋を40分で結ぶというリニア計画は、3兆円の巨大国費を投入して、南アルプスの自然を破壊し、上水道の水源である大井川の水量を大きく減水させる巨大公共事業は、人々の暮らしに直結する大きな課題であることが報告された。

2日間にわたった研修会は、12時30分過ぎに全日程を無事終えることができた。

終了後オプションツアーも企画されていたが、帰路時間を考えるととても参加できる状況ではなく、沼津駅から静岡経由の新幹線で、新大阪へと乗り継ぎ帰阪の途に就いた。

5、所 感

第10回目を迎えた全国自治体政策研究集会であった。毎回参加させて頂いているが、毎回研修内容は盛りだくさんで充実しており、企画して頂いている関係者には感謝を申し上げるしかない。今回は地元の市民の参加も目立ったが、全国から180名を超える参加者で熱心に研修と議論が展開されたことの意義は大きい。特に安倍「一強」政治のもとで、多数にモノを言わせる強引な政治手法は、戦後の平和と民主主義を根底から覆させる危険性がある。私ども地方自治に携わる者にとっても危機感を持って対応していかなければならないことを認識させられた全国自治体政策集会でもあった。

本市としても地方自治を守り、市民の健康と生活を守るという自治体の使命を守りながら主体的な地方自治を確立していく取組みの重要性を改めて認識し、今後の議会活動と行政に生かしていく事を申し上げ、報告に替えさせていただきます。

以上